

第5章 プログラムが目指す姿

県では、平成18年に策定した「建設産業再生支援アクションプログラム」及び平成30年に同プログラムをリニューアルした「魅力あふれる建設産業づくりアクションプログラム」に基づき、県内建設業者が、厳しい経営環境に対応し得る「技術と経営に優れた事業者」として再生するとともに、将来にわたって持続的に発展していくための担い手を確保・育成していくことにより、建設産業が持続可能な産業へ再生するための施策を展開してきたところです。

昨今では、防災・減災、国土強靱化の取組の推進などにより公共投資の減少傾向は下げ止まり、建設業の倒産件数も大幅に減少している一方で、県内建設業の就業者数は減少の一途をたどっており、今後、さらに産業間の人材確保競争の激化が予想される中、建設産業を取り巻く環境は、「働き方改革」や「生産性向上」がクローズアップされるなど、新たな局面を迎えています。

このため、今後は、行政、業界団体、各企業が一体となった取組を通じて良質な建設サービスを提供し、地域の安全・安心や経済成長に貢献することで県民の理解と信頼を獲得し、これを若者の入職につなげる好循環を実現することで、若者が明るい将来展望を持つことができ、建設産業が地域社会に貢献する地域や県民にとって魅力あふれる産業となり、地域社会と共に、明日の愛媛をつくる産業へと発展することにより、「愛顔あふれる愛媛県」の実現に貢献していくことを目指していきます。

